

第2期総合戦略では、人口ビジョンや第1期総合戦略の検証・課題を踏まえ、「人口受入対策」「人口流出対策」「交流・関係人口の増加」につながる4つの施策パッケージを設定して取り組みます。

基本目標1 くっちゃんて暮らす幸せを感じる

【数値目標】 2025(令和7)年 国勢調査人口 15,894人

基本的方向

倶知安町の自然豊かで外国人が多く暮らす多文化共生の国際リゾート地という特色を活かして、人種や世代を超えた多くの人々が『大好きなこの町、倶知安町ですっと暮らしたい』と思えるような、さまざまな生活環境づくりを展開し、住民の福祉増進を図ります。

安心して子育て
子育てができる
まちにする

誰もが長く
働き続けられる
まちにする

帰ってきたくなる
故郷(まち)にする

住みたくなる都市
(まち)にする

基本目標2 くっちゃんて交流する幸せを感じる

【数値目標】 2024(令和6)年 観光客入込数の増加 177万人
観光客宿泊延数の増加 144万人泊
繁閑差率の向上 0.475

基本的方向

倶知安町は、外国人観光客の増加や海外投資によるホテル、 condominiumなどの建設によって、世界有数の国際リゾート地へと発展を続けています。この特色を活かし、観光客を中心とした交流人口を増加させるほか、住民と世界から訪れる外国人、外国籍住民がお互いの文化や習慣を理解し合いながら共生し、多様性に対応する魅力あるまちづくりを展開していきます。

交流エリアとしての
質を高める

交流タウンとしての
魅力を高める

交流タウンとして
多文化共生を実現する

施策パッケージ①

子育て・子育て環境の整備

第2期倶知安町子どもプランに基づく妊娠、出産、子育て子育ての切れ目ない支援、自然・国際色豊かな環境を活かした教育、住環境づくりや生活しやすい環境づくりで、子どもを産みたい、育てたいと思える環境整備を行います。

安心して子育て子育てができる環境を整えることで、若い世代の転出の抑制と転入の増加を目指します。

施策パッケージ②

安定した雇用の確保

全国的、全業種にわたる人手不足の問題は、本町においても深刻な状況にあり、基幹産業である農業をはじめとして、色々な地域から来た人材が働ける場所づくり、進学や就職で一度は本町を離れた子ども達が帰ってきたくなるような環境づくりを行います。

安定した雇用を確保することで、季節雇用による転出の抑制と、地場産業の強化や働きやすい地域づくりによる人材受入により、転入と交流・関係人口の増加を目指します。

施策パッケージ③

人口流出の抑制と地元定着

雪の多さ、転勤族の多さ、交流人口や外国籍住民の多さなど、他にはない特徴を持つ当町において、どの世代の誰もが安心して生活し、愛着を持てる町を目指して、多様性への対応、多文化共生の実現、高校生を始めとする多様な人々との協働によるまちづくりを行い、地元定着の促進を図ります。

地元定着の促進を図ることで住環境等の理由による転出の抑制と、外国籍住民を含む多様な人々との協働によるまちづくりで関係人口の増加を目指します。

施策パッケージ④

人の流れとにぎわいの創出

新幹線駅開業や高速道路開通を見越し、様々な分野で活発な動きがあるなか、商店街では小売店舗の閉店が増えるなど、課題も多い本町において、商工業を支援することで町のにぎわいと活力を創出し、また、観光地としての質と魅力を向上させることで、人の流れを呼び込み、持続可能な観光地づくりを目指します。

人の流れとにぎわいを創出することで、観光地としての質と魅力を向上させ、交流・関係人口の増加を目指します。

人口受入対策

人口流出対策

交流・関係人口の増加